

# 「告訴もナシ、金を返せば終わりではアカン」「上司の処分甘すぎる」

## 住んで良かった町・当たり前の町へ

前課長の地方公務員法違反事件に対する処分が報道され、大変「甘い処分」であることから、「明るい町にする気持ちがあるのか」との声が上がります。着服事件で町が未だに告訴しない事態と合わせ、怒りと町政への不信が募ります。公金横領事件の早期解決は、「住んで良かった町」にするためにも、当面する町政の最大の課題です。

4日、総務民生常任委員会が、公金横領事件、前税務課長の地方公務員法違反処分をテーマに開かれました。これは、山田裕康、山田充、西澤の3議員連名で開催要請（7月15日）していたもの。

同委員会開催前に同じく3議員が共同して北川町長あての質問状を提出。質問事項に沿って質疑・協議。今回は公金横領事件に関する質問と回答を紹介します（見出しは編集者）。求めていた回答が10日に届きました。

## 町職員（当時）による 公金横領事件ならびに 前税務課長の処分 に関する質問状

私たちは、甲良町議会6月定例会において可決（6月13日）された「公金横領事件の早期告訴ならびに事件の全容説明と再発防止のための第三者による調査委員会設置を求める決議」（決議第6号）の趣旨に則り、事件の全面的な解決と「不正は許さない、誇りの持てる甲良町」に進み出したと評価できる町政になることを切に願っています。

公金横領事件発覚から、この8月13日で7ヶ月が経過し、K元職員が当初から一貫して横領事実を自認しているにもかかわらず、刑事責任も問われず、逮捕もされない異常事態が続いています。

このように、町行政が町民に不信を与えている事態の時こそ、町民の代表たる議会が行政への監視・監督の役割を果たさねばなりません。その役割にかんがみ下記のとおり質問します。

記

### 【公金横領事件について】

1、事件発覚以来、幾度も行われた当事件に対する質問で被害額は「捜査の関係上公表できな

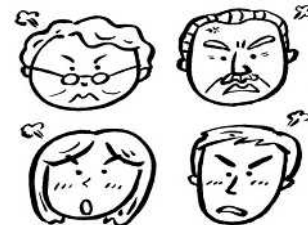
い」とされてきたが、7月11日、K容疑者にかかわる債権者会議で請求した甲良町の債権額に合わせて「被害額は約3,370万円」と公表された。現在容疑者が逮捕もされない段階で、被害額を公表したことから見えることは、「捜査の関係上公表できない」とする言い訳は「着服額の膨大さ」を覆い隠す意図があったのではないかと考えられる。見解は。

回答 公表については、K氏の破産申し立ての準備の過程で、平成28年2月にK氏代理人弁護士からの債権照会に対し、同年3月29日に債権者K氏の破産手続きの開始が決定され、同年7月7日付で管財人に最終的に破産債権届書を提出しました。そして同年7月11日に債権者集会が開始されたことを機会に、被害額を公表したもので「着服額の膨大さ」を覆い隠す意図は、全くありません。

「3,000万円」の  
出どころ不思議

2、本年7月11日全協において「被害額3370万円」と公表した被害額の根拠と経過を問われて、「1月18日からK容疑者を厳しく調査した金額を積み上げたもの」と説明された。3370万円の内、調査費の370万円を除く約3000万円は3月議会や6月議会の時点でほぼ明らかになっていたのではないかと。「横領額約3000万円」はいつK容疑者に伝えたのか。

回答 公表した公金横領分としての約3000万円については、K氏に対する損害賠償債権として、平成28年2月時点で、K氏代理人弁護士に回答し、同年5月時点で管財人に破産債権届出書（1回目）を行っており、3月議会、6月議会に時点で認識していたが、「横領額約3000万円」をK氏に伝えた事実は



## 甲良民報

2016年8月14日 676号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在土463（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。 くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38 3875  
日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

なく、また調査途上だったこと、顧問弁護士および警察との協議の中で公表を差し控えていたことをご理解賜りたい。

### 告訴しない理由は？

3、K容疑者は事件発覚当初からマスコミの取材に対しても犯行を認めている。その上「横領額約3000万円」を公表した時点で横領事実の証明が可能と見られる。にもかかわらず、刑事告訴しないのはいかなる理由か。

回答 告訴に向けた協議で、刑事告訴では、K氏の供述がない場合であっても立件可能な証拠を求められており、相当な時間を要していることをご理解いただきたい。

4、「隠し持っていた」とされる192戸分の2連納付書は、いつどこで、どのように発見されたのか。

回答 K氏の机の中から発見されたが、具体的な回答は、今後の捜査に影響を与えることが考えられることから差し控えさせていただきたい。

5、「192戸分」の調査の結果、何戸分の裏づけ確認が判明し、その被害総額はどれだけか。

回答 192戸の訪問調査では、およそ3割(269件/818件)の領収書の写真撮影ができたが、写真撮影できた269件すべてが立件可能との判断に結びつく訳ではなく、まだ絞り込まれる可能性があることをご理解いただきたい。また、被害総額については、告訴と関係する事柄ですとお答えすることはできない。

6、「隠し持っていた」とされる192戸分が「真の被害額」の一部分であると説明され

ているが、どのような根拠からなのか。横領行為の期間、件数はどれだけか。

回答 192戸分は認定した約3000万円の被害額の内数であることや、現在納税者から調べてほしいとの依頼が十数件あることから公表した公金横領分約3000万円で全ての被害額を確定するものではありません。横領期間、件数については調査中の案件があることからお答えできないのでご理解いただきたい。

7、刑事上の横領額と民事上の損害額が必ずしも「同一でなければならない」とは限らない。よって、損害請求は「真の被害額」が判明した時点で毅然とK容疑者に請求すべきと考える。見解は。

回答 K氏の破産手続きにより損害額となる損害賠償債権をいかに回収するかということ刑事告訴もさることながら最優先するという考えから債権回収の機会を逃すことなく慎重

かつ着実に取り組むものと考えています。

8、本年6月24日付回答で第三者による調査委員会によって行う必要がある旨述べているが、設置時期を明らかにすべきと考えるが、見解は。

回答 第三者委員会の設置については必要であるとの認識に変わりないが、適切な時期に体制を立て直しながら、税務課に限らず役場全体の事務改善を必ず行うこととしたい。

### 【前税務課長の公務員法違反行為について】

この項の質問と回答は次回にお知らせします。



### しんぶん 赤旗

政治・経済・事件のなぜ！  
がよくわかる  
新聞！！

2016.8.7より

### 潮流

人類への希望を込めた二つのメッセージが心に残りました。ブラジル・リオデジ

ヤネイロ五輪の開会式と広島  
の平和宣言です▼あらゆる人  
種が混ざり合ったといわれる  
移民の国。そこで開かれる南  
米初の五輪は寛容さと多様性  
を強調する場になりました。  
史上最多205の国と地域、  
初めての試みとなった難民選  
手団を温かく迎えた開会式。  
さまざまな民族や文化を受け  
入れ、尊重してきた地の懐の  
深さが表れていました▼排外  
主義が台頭し、テロの脅威、  
人間の尊厳をおびやかす貧困  
や格差がひろがる世界。渦巻  
く不信を前に国際オリンピック  
委員会長のバハ会長は結束  
を呼びかけました。「人間は  
平等という人類共通の価値は  
それを分断しようとする力よ  
りも強いはずだ」▼五輪開催  
の華々しさの一方でファベ  
ラ(スラム街)が点在するリ  
オ。貧しく犯罪と隣り合わせ  
の生活を送る子どもたちに、  
スポーツを通して良い影響を  
与えたい。選手たちの願いで  
す▼広島からも「多様な価値  
観を認め合いながら、『共に  
生きる』世界を目指し努力を  
重ねなければなりません」。  
そして今こそ、非人道的の極  
みである核兵器をなくすため  
に情熱をもって連帯し、行動  
を起こすときだと▼同じ時に  
南米から、日本から、発信さ  
れた多様な世界と平和への思  
い。ヒロシマの子どもたちが  
誓いました。「私たちは待つ  
ているだけではないのです。  
誰が、平和な世界にする  
のでしょうか。夢や希望にあ  
ふれた未来は、僕たち、私た  
ち、一人一人が創るのです」